

南風好天時ににおける北ルート的高度引き上げに対して… 騒音軽減効果は不十分!! 早急な対応が必要。



羽田空港に向かう千葉市上空の航空機

前々号に引き続き、羽田空港騒音問題について、総合企画水道常任委員会において質問をいたしました。

【ほんま進】
羽田空港の航空機騒音について、国土交通省は、南風好天時ににおける北方面ルート的高度引き上げの試行運転を、3月6日から開始したところであるが、北方面ルート的高度引き上げによる騒音軽減効果と、更なる改善の見通しはどうか？
空港地域振興課長から
南風好天時ににおける北方面ルート的高度引き上げについては、500フットというところで、6月6日に開催した連絡協議会においても騒音軽減効果としては不十分であると、関係市から意見が出ており、更なる高度引き上げ等の早急な対応が必要であると考えております。

このことは、国土交通大臣に対する昨年11月の緊急要望にも盛り込んでおりますが、連絡協議会において、北方面ルートの高くなる騒音はもとより、首都圏全体での騒音の分担が正に必要であると、国土交通大臣に対して抜本的な改善を求めたところであります。

【ほんま進】
都心上空を通過する飛行ルートなども検討されているようだが、連絡協議会が求めている首都圏全体での騒音の分担について、都心上空も含め、国の検討状況はどうなっているのか？
空港地域振興課長から
国土交通省の有識者会議である「首都圏空港機能強化技術検討小委員会」から、去る6月6日に中間とりまとめが示されました。その中には、南風時の運用として、都心上空を通過する飛行ルートも含まれますが、国土交通省によればこの中間とりまとめで示されている検討内容は、あくまでも技術的な選択肢として洗い出しをしたものであり、引き続き精査を行うとのことです。

【ほんま進】
技術的に都心上空を通過することが可能であるならば、首都圏全体で騒音を分担するために、早期に実現を図るべきだと思われる。そこで、国の小委員会の中間とりまとめを踏まえ、今後どのように議論が進むか？
空港地域振興課長から
国土交通省によると、小委員会での中間とりまとめを踏まえ、今後、機能強化の方策の具体化を進めるにあたっては、関係自治体や航空会社等の関係者と検討・協議を行っていくとのこと。

【ほんま進】
要望
確かに、国の首都圏空港の機能強化に向けた議論は重要だが、飛行ルート下の地元住民は、騒音を少しでも軽減してもらいたい、早くしてほしい。
国に対しては、今ある現状の騒音負担の軽減のため引き続き強く働きかけてもらいたい。
これは要望である。

上水道事業会計平成25年度決算見込み 消費税増税前の 駆け込み需要等により 純利益が増加。

総合企画水道常任委員会において、平成25年度上水道事業会計決算見込みで質問をいたしました。

【ほんま進】
平成25年度決算見込みについて、消費税増税前の駆け込み需要等により、純利益が前年度より14億8千6百万円増加とのことだが、その具体的な内容は何か？
財務課長から
平成25年度決算見込みにおいて、純利益が増加した具体的な理由は、消費税増税前の駆け込み需要等により、純利益が前年度より14億8千6百万円増加したことにより、純利益は前年度と比較して14億8千6百万円増の75億7千万円となる見込みです。

税前の住宅等の駆け込み需要等の特殊事情により、給水申し込み納付金が55億6千5百万円となり、前年度決算額と比較して13億7千4百万円増加したことになります。

一方、支出については、ほぼ前年並みに抑えることができたので、その結果、純利益は前年度と比較して14億8千6百万円増の75億7千万円となる見込みです。

汚泥の放射性物質濃度の測定状況について

各浄水場の放射性セシウム濃度の6月25日現在、数値測定結果は、1キログラムあたり、柏井浄水場東側施設で231ベクレル、柏井浄水場西側施設で151ベクレル、北総浄水場は111ベクレル、ちば野菊の里浄水場は252ベクレルで、いずれもセメント原料等の再利用可能なレベルになっています。

採取日	H25 6月12日	H25 11月13日	H26 2月19日	H26 6月25日
柏井(東)	338	228	143	231
柏井(西)	121	138	154	151
北総	146	197	57	111
ちば野菊の里	422	261	96	252
福増	不検出	12 11月18日採取	不検出 1月24日採取	25 6月23日採取

平成26年度千葉県議会 地震・津波対策議員連盟 宮城県・福島県視察

5月11日から13日の日程で千葉県議会地震・津波対策議員連盟が東日本大震災で被災した宮城県、福島県を訪れ、大震災発生から3年余を経た被災地が、現在どのような状況に置かれ、また復興に至る過程で直面している課題などについて、実際に視察することにより、視察で得た知見を今後の本県における地震・津波対策活動の一助とするため視察を実施しました。

①復興に取り組んでいる石巻漁港の視察
②被災した石巻市立大川小学校跡の視察並びに慰霊碑への献花・焼香
③被災した南三陸町防災対策庁舎の視察並びに献花・焼香
④復旧・防災対策強化に取り組む航空自衛隊松島基地の視察

5月11日から13日の日程で千葉県議会地震・津波対策議員連盟が東日本大震災で被災した宮城県、福島県を訪れ、大震災発生から3年余を経た被災地が、現在どのような状況に置かれ、また復興に至る過程で直面している課題などについて、実際に視察することにより、視察で得た知見を今後の本県における地震・津波対策活動の一助とするため視察を実施しました。

⑤被災した南相馬市の小高地区を中心とする視察
⑥会津若松市扇町1号公園応急仮設住宅に避難している大熊町民からの意見聴取等を行ってまいりました。

震災から3年余経った今でも東日本大震災の爪痕は依然として大きく残っており、とりわけ帰還困難地域において、被災直後から時が止まってしまっているように感じ、復興・復興までの道のりがいかに困難な状況にあり、地域や関係者の努力だけでは限界があること、また、日常や故郷を取り戻すために当事者が希望を持ち続けることのできる環境支援が重要であることを感じた視察でした。



福島県南相馬市「奇跡の一本松」



南三陸町防災対策庁舎